



# 登り藤

令和8年6月5日（金）発行  
令和8年度 第3号  
江戸川区立南葛西第二中学校

## 第40回運動会スローガン

**勝利の道突き進め！ 40年の歴史を超えて**

校長 江熊秀昭



雲一つない晴天の中、運動会を開催しました。40周年の記念すべき運動会スローガンは2年3組の小林千紘さんが考えました。

勝ち負けにこだわらずに運動の得意な人も、不得意な人も全力で楽しめる運動会にすること。そのためには協力や団結を目標にしないこと。上手になる、他学級よりも速くなりたい、多く跳びたいという目標のために、団結や協力という手段が必要だと考えたなら構わない。何が何でもみんなが一緒になければならないという集団主義は息苦しさを感ずります。そのために「運動会は嫌だな」と思う人がいては、意味がありません…と全校朝会で話しました。

テクニカルレースで麻袋から足がなかなか抜けずに悪戦苦闘する生徒、二人三脚で息が合わずに転倒する組がありましたが、必死に競技に取り組み、見学している生徒も温かい声援を送っていました。

1年生「台風の目」は四人組で走るだけでなく、棒の引き渡しでも声を掛け合う。2年生「大縄跳び」は回数を数える声、縄を回す人と跳ぶ人の声が共鳴して一体感がありました。3年生「ムカデ競争」つまづき転倒しながらも、前へ前へと突き進む姿は下級生への立派なお手本でした。どの学級も自分たちの結果を素直に喜び受け入れ、勝者を称える態度は誇らしいものでした。

好き嫌いに関わらず、練習から一人一人が力を尽くし、お互いにその姿勢を認めることが仲間意識を高めて、協力や団結を生み出します。

運動会で生徒の成長を感じたことがあります。挨拶の大切さを先生方が話してきましたが、開閉会式では自然に挨拶をする姿が見受けられました。普段でも、挨拶を交わす声が増えました。

日々の積み重ね、行事で学んだことを学校生活で生かし、40年目を迎えた南葛西第二中学校がみんなの力で、さらに充実することを期待します。



保護者の皆様、暑い中、声援ありがとうございました。  
また、綱引きに出場していただき、生徒も良い思い出ができました。

※本校ホームページも随時更新しています。ぜひ本校生徒の活躍の様子をご覧ください。

